

令和4年度帰宅困難者対策図上訓練 アンケート結果

Q1 本日の図上訓練に参加して自社での一斉帰宅抑制・施設内待機への意識に変化がありましたか。

はい：54 いいえ：4 どちらともいえない：10 無回答：0 (N=68)

「はい」→どのような変化でしょうか

●一斉帰宅抑制の重要性の再認識

- ・一斉帰宅抑制の重要性をより認識できた。

●ルールづくり等、対応の必要性

- ・事前の想定をより具体的に決めておくことが重要と感じた。
- ・「臨機対応」が重要だと考えていたが、判断を迷う機会を減らすためにも、予めルール、マニュアルを決めておくことの重要性に気づいた。

●具体的な検討事項の認識

- ・連絡体制の見直し、職員用備蓄の確認
- ・コロナ禍であり、隔離等の設備（部屋）の準備が必要である。
- ・病人・父母が心配など具体的な課題発生があることに気づかされた。

●対応の難しさ・課題の気づき

- ・災害が発生した場合の対応の難しさを感じた。
- ・実際に机上訓練を行うと、検討すべき事項が多々あった。
- ・施設内待機は必要だが、実施へのハードルが高い。事前の準備が必要。
- ・想定すべき事項が多い。

●考える機会になった

- ・実際の動きが伴う訓練であり想定しやすい。
- ・具体的なイベントを想定しての演習は参考になった。
- ・新たな問題点を話し合えた。
- ・具体的にシミュレーションしておくことが大切と思った。
- ・様々な発想・意見が新鮮だった。

「いいえ」「どちらともいえない」→理由をお聞かせください

- ・重要なことであるという意識に変更はない。
- ・業種が一斉帰宅抑制はなじまない。
- ・すでに一斉帰宅抑制の意識は持っている。

Q 2 自社での KUG の実施など、一斉帰宅抑制・施設内待機の実施の推進に活かせると思われましたか。

はい : 56 いいえ : 0 どちらともいえない : 11 無回答 : 1 (N=68)

「はい」→どのように活かそうですか

●社内での訓練・研修

- ・社内で同様の研修や訓練が実施したい。
- ・実際に起こりそうな事例（イベント）を考える機会となった。

●社内での意識づくり・啓発

- ・全社員へ考え方を周知する。
- ・一斉帰宅抑制の重要性を社員に伝えていきたい。
- ・企業への啓発に活用できる。
- ・あらゆる機会を想定して、自ら考えるきっかけになる。

●社内での対応・取組み・考え方等

- ・事前の準備の必要性
- ・都度のケースに対応する必要性
- ・事前のマニュアル作成の大切さがわかった。
- ・対応を考えさせられた。再確認したい。
- ・タイムラインに沿ってシミュレーションが出来そう。
- ・名簿作成（待機者）
- ・備蓄物資の用意。
- ・課題のあぶり出しに使える。
- ・団体の会員企業の考え方、対応のメリットを共有できる

「いいえ」「どちらともいえない」→理由をお聞かせください

- ・重要性は認識するものの、どのように活かせばよいかが悩みである。
- ・業種上、現場ではどちらも無理である。

Q 3 自社での一斉帰宅抑制・施設内待機の取組を進められるにあたって課題に感じられることはありますか。

はい：47 いいえ：10 どちらともいえない：10 無回答：1 (N=68)

「はい」→課題に感じられている点はどのようなことですか

●社内での周知・訓練の実施

- ・訓練や社員の意識づけ
- ・全員参加のものが難しい。貸しビルでの訓練。
- ・部署によって、状況が異なるので、意思の統一が難しい。
- ・個々の考えや、生活様式の違いがあり、全員に理解してもらえるかが不安である。

●各事象への判断・配慮

- ・ジェンダー、感染症対策
- ・夜間の帰宅希望者への対応
- ・帰宅可能かどうかの判断と帰宅させるべきか否かの判断
- ・想定外の事象への対応が難しい。

●ルール等の策定・見直し・更新

- ・備蓄品等ハード面の整備は進んでいるが、具体的な運用や災害シナリオごとの取組が決められていないこと
- ・事前に決めるべきルールの周知や策定が不十分
- ・LGBTQ など、比較的新しい課題が生じる中で、どこまで配慮できるのか、常にマニュアルを見直す必要性があると感じた。
- ・家族の安否確認

●来所者の対応

- ・自社だけでなく、顧客対応を含めて取り組みたい。

●施設の課題

- ・社内に待機スペースがない。
- ・スペースの確保・仕切りの作成
- ・簡易トイレのオペレーション及び汚物の保管・処理
- ・男女の待機場所や体調不良者の待機場所の確保が必要

●業種として災害対応が必要

- ・運行再開や医療提供が優先され、社員のことを中々考えられないのではないかと。
- ・従業員の勤務が変則

●その他

- ・一企業としての帰宅抑制策よりも、駅に集まってきた帰宅困難者対策の方が悩ましい。
- ・方針をきっちり伝えないと、混乱が生じる。情報提供をどのようにしていくかの難しさ。

Q 4 今後、帰宅困難者対策協議会でどのような訓練を実施したいか、その他、図上訓練全体に関して、ご意見・ご感想がありましたらお聞かせください。

[今後の訓練について]

- 受け入れも想定した内容での実施
- 実働での誘導訓練・レイアウト訓練
- 想定事案を絞って深掘りする訓練
- 今日の訓練をもう少し時間をかけてやってほしい。
- 各地域でこの様な機会を作ってほしい。
- 簡易マニュアル作成

[図上訓練全体についてのご感想]

- 非常に有意義な訓練だと思う。うまく活用出来れば良いトレーニングになる。
- いろいろな業種の方々と対話することができ、勉強になった。
- ゲーム感覚でできたので、参加者全員、活発な議論を行いながら訓練を実施することができた。
- 大変参考になった。職員の生活に焦点をあてた訓練も必要だと感じた。